

諏訪湖流入河川水量調査（中間報告）

長野県環境保全研究所 水・土壌環境部

1. 調査目的

諏訪湖流入河川の水量を把握することにより、諏訪湖への流入汚濁負荷量を解明し、水質保全対策に資するとともに、諏訪湖の水の流れを把握することで、貧酸素水塊の挙動に係る調査研究に繋げる。

2. 調査方法

- 2.1 対象河川： 塚間川・横河川・承知川の河口付近
- 2.2 水位計の取り付け方法： 河川護岸にステンレス製の有孔管を固定し、管内部に圧力式の水位計を吊り下げた（写真1）。
- 2.3 調査実施日： H30(2018)/11/6～H31(2019)3/31～現在継続中
- 2.4 データ： 絶対圧・水温を、30分間隔で取得した。
- 2.5 河川断面形状の計測： 現地で検尺等により計測した。
- 2.6 流速： データ回収の際に測定。降雨中・降雨直後に、諏訪地域振興局環境課が測定。

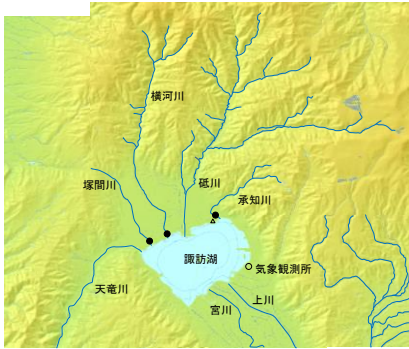


図1 設置場所



写真1 水位計の取り付け

3. 調査結果

流量・水温の経時変化の例を示す（図2、図3）。また、月ごとの流量合計を示す（図4）。2月から5月にかけて増水していないので、融雪が水量に及ぼす影響は少ないと思われる。

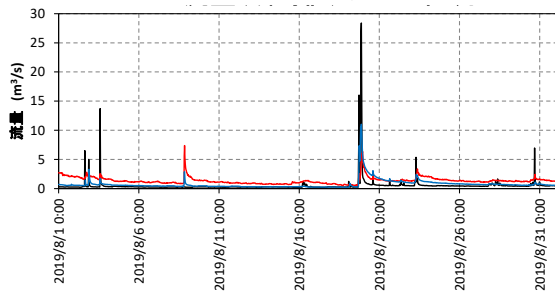


図2 流量の経時変化

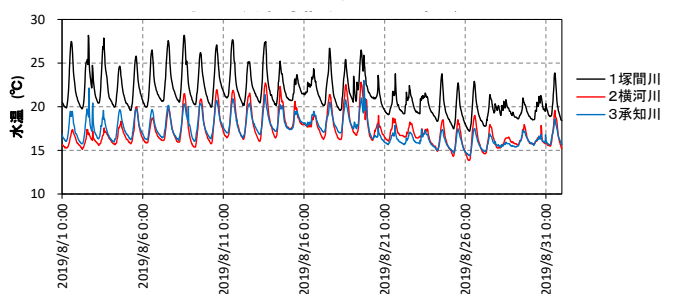


図3 水温の経時変化

4. 今後の予定

流況曲線図の作成や水温に関する考察を行う予定である。

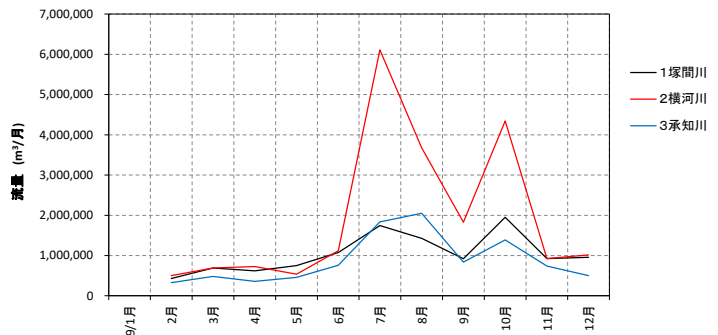


図4 月ごとの流量 ※ 値は暫定値 ※ 欠測・未回収の箇所を補間